

事務局報告

平成17年度の学術発表会は、福田国彦教授(東京慈恵会医科大学放射線医学講座)のお世話で10月15日、16日の両日に「東京慈恵会医科大学1号館3階講堂」で開催された。今回の大会のメインテーマは「非造影検査vs造影検査」であり、3つのシンポジウムすなわち、1.非造影検査でどこまで診断に迫れるか? 2.造影検査で診断を極める、3.非造影検査vs造影検査が生まれ、さらに教育講演として、1.中枢神経の放射線治療後の変化、2.タバコ関連疾患のCT、3.腸管虚血における造影CT、4.骨盤内炎症性疾患における造影検査の4題が取り上げられた。この他に、特別講演として鈴鹿隆之先生(鈴鹿内科医院)の「踏切警報機学入門」と題するユニークな講演があった。さらにランチョンセミナーでは、1.腹部造影CT検査における効果的な撮影タイミング(金東石氏(大阪大))、2.肝の造影CTプロトコル(堀雅敏氏(大阪大))、3.肺血栓塞栓症と深部静脈血栓症の診断—US、MDCT、血清データの検討—(陣崎雅弘氏(慶応大))の3つの演題、イブニングセミナーでは、1.画像診断と医療経済—包括化の動向・影響と今後の展望—(川渕孝一氏(東京医歯大))、2. MRI of atherosclerosis: Current application and future directions (B.A.Wasserman氏(Johns Hopkins Univ.))の2題が取り上げられた。その他に一般演題が24題あり、全体を通じて盛りだくさんの内容が生まれ、2日間にわたって充実した研究会が開催された。

この中でも異彩を放ったのが鈴鹿先生の特別講演で、先生自らが手作りで作製した本物の踏切警報機が会場に持ち込まれ、踏切警報機の種類から始まり、実際に警報音を鳴らして聞かせてくれました。さらに実際の踏切の現場で録音したテープ音の再生もあり、臨場感ある説明を加えていただき、おかげで我々が日頃何気なく目にし、聞き流している警報機にもさまざまな種類があり、踏み切り現場ではいろいろな工夫がなされていることを知らされた。講演の中で、ご本人からは趣味が講じた結果だと謙遜しておられましたが、対象が何であれ、緻密な観察力で一つの学問体系にまで構築された鈴鹿先生の熱意と努力には敬服させられました。また、われわれが普段参加する学術研究の発表会で、このような講演を拜聴できる機会はめったになく、その点でも大会長の福田教授の心意気に感服させられました。

シンポジウム、教育講演、ランチョン・イブニングセミナー、一般演題のそれぞれのセッションの演題抄録は本号に掲載されているので参考にさせていただきたい。初日の夕方には近くの中華料理店で懇親会が開かれ、会員の親睦を図ることが出来、大会長の福田教授はじめ、慈恵医大の教室関係者の方々には大変お世話になりました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

平成17年度断層映像研究会世話人会

日時：平成17年10月15日(土)12:30~13:30

場所：東京慈恵会医科大学

大学1号館17階カンファレンスC・D

出席者：尾尻博也、片田和廣、金子昌生、佐貫榮一、穴戸文男、田中淳司、田中良明、土屋一洋、原田潤太、福田国彦、藤井恭一、細野 眞、本田憲業、村山貞之、吉田祥二(50音順)

議長：福田国彦

議事：

1. 平成16年度の事業報告、決算報告、監査報告(藤井恭一、福田国彦両監事)が行われ、別紙のように承認された。
2. 庶務報告として、会員数は平成17年8月現在で382名(うち38名は特別会員、11名は功労会員)、会員動態は平成16年4月から平成17年3月の1年間に新規会員10名、退会25名である。会費納入状況は平成10年度以降の未納者分は延べ415名分であった。
3. 平成17年度上半期の事業中間報告が行われた。
4. 平成18年度の事業計画、予算案が提案され、別紙のように承認された。
5. 平成17年10月14日(金)開催の編集委員会の報告が本田編集委員長より行われた。

1) 断層映像研究会雑誌の編集状況および今後の編集方針について報告があった。

2) guest editorの企画による編集方針は今後も続けることとし、各号で特色を生かした論文を掲載する。

3) 今年の雑誌発行は、第33巻第1号は2006年3月(guest editor:九州大学 本田浩教授)、第2号は8月(第35回大会号で大会プログラムと演題抄録掲載、特集guest editor:産業医大 興梠征典教授)、第3号は11月(guest editor:長崎大学 上谷雅孝教授)の予定である。

4) 大会長は、次期(平成18年度)の第35回大会は穴戸文男教授(福島県立医大)、次々期(平成19年度)は大友邦教授(東京大学)であるが、次々々期(平成20年度)は本田浩教授(九州大学)に決定した。

5) 学会誌への投稿論文について、欧文誌へ投稿した同一内容を和文で投稿しても、secondary publicationである旨を明記すれば、言語が異なること、読者の対象層が異なることなどから、二重投稿(duplication)には相当しないことが国際的にも認められていると本田編集委員長より説明があった。これを受けて症例報告なども含めて、本誌に相応しい内容のものがあれば各教室の関係者に投稿を勧めてほしいとの発言があった。

6) 電子ジャーナルについては業者に委託してCD-Rを作製しても、1号あたり編集費用として30万円前後要するとのことで、引き続き検討することになった。

6. 世話人として、江原茂先生(岩手医大)、細矢貴亮先生(山形大学)、南学先生(筑波大学)、齋田幸久先生(聖路加国際病院)、甲田英一先生(東邦大学)、井上登美雄先生(横浜市大)、後閑武彦先生(昭和大学)、

小川敏英先生(鳥取大学)、小川恭弘先生(高知大学)が推薦された(このうち、細矢先生、南先生、齋田先生は後日に就任否の回答あり:事務局注)。また、西条隆夫氏の世話人退任が承認された。

7. 特別会員として宗近宏次氏、吉田祥二氏が推挙された。

8. 今回の第35回大会は穴戸文男教授のお世話で平成18年9月1日(金)、2日(土)の2日間、福島ビューホテルで開催される。

9. この1年間の物故会員は石田修先生、玉木正男先生の2名である(その後、豊田肇先生が追加された:事務局注)。

平成17年度断層映像研究会総会議事要旨

日時:平成17年10月15日(土)13:50~14:10

場所:東京慈恵会医科大学1号館3階講堂

議事:福田国彦大会長のもと議事が進められ、上記の世話人会報告および編集委員会報告が行われ、いずれも原案通り承認された。

(文責:事務局 田中良明)

1号議案:平成16年度事業報告及び庶務報告

1) 平成16年度事業報告

1. 総会

1回 平成16年10月15日(金)

豊中市、千里ライフサイエンスセンター

2. 第33回断層映像研究会学術大会

平成16年10月15日(金)、16日(土)

学術大会長 榎林 勇(大阪医科大学)

3. 世話人会

1回 平成16年10月15日(金) 豊中市

4. 編集委員会

1回 平成16年10月14日(木) 豊中市

5. 研究会雑誌の発行

第31巻2号(H. 16. 6. 30)発行

第31巻3号(H. 16. 9. 30)発行

第32巻1号(H. 17. 3. 31)発行

2) 庶務報告 資料1

2号議案:平成16年度収支決算報告ならびに監査結果報告

1) 収支決算報告 資料2

2) 藤井恭一、福田国彦監事より監査報告

3号議案:平成17年度上半期事業中間報告

1) 収支中間報告 資料3

4号議案:編集委員会報告

編集委員会

日時 平成17年10月14日(金)

場所 東京慈恵会医科大学 大学1号館

検討内容報告

1. 断層映像研究会雑誌編集状況および今後の編集方針について

2. 庶務報告

1) 平成16年度事業報告、決算報告

2) 平成17年度事業中間報告

3) 平成18年度事業計画、予算(案)について

3. 電子ジャーナルについて

4. 世話人、特別会員、功労会員の推挙について

5. 次々々期(平成20年度)の大会長推薦について

5号議案:平成18年度事業計画および予算案

1) 平成18年度 事業計画

1. 総会 1回

2. 学術発表会 1回

3. 世話人会 1回
 4. 編集委員会 随時
 5. 研究会雑誌の発行 3回
 (うち一回は大会抄録号を兼ねる)
- 2) 平成18年度予算書(案) **資料4**
- 6号議案: 世話人推薦の件
 7号議案: 特別会員推挙の件
 8号議案: 次々々期(平成20年度)の大会長推薦の件
 9号議案: その他

資料1

庶務報告

1. 会員数(平成17年8月現在)

会 員	333名
特別会員	38名
功労会員	11名
合計会員数	382名

2. 会員動態(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

新規会員	10名
退会	25名

資料2-1

平成16年度収支決算報告書
 (平成16年4月1日～平成17年3月31日)

(△減)

1. 収入の部				2. 支出の部			
項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	項 目	予 算 額	決 算 額	増 減
会 費	1,600,000	1,166,000	434,000	報 償 費	250,000	0	250,000
利 子	100	72	28	賃 金	0	0	0
雑 収 入	0	11,497	△11,497	旅 費	40,000	15,000	25,000
前年度繰越	800,000	1,375,124	△575,124	需 用 費	70,000	29,750	40,250
				役 務 費	120,000	96,787	23,213
				使用賃借料	10,000	0	10,000
				負担金及び補助金	1,500,000	1,476,000	24,000
				返 納 金	0	6,000	△6,000
				予 備 費	50,000	0	50,000
				次年度繰越	360,100	929,156	△569,056
合 計	2,400,100	2,552,693	△152,593	合 計	2,400,100	2,552,693	△152,593

次年度繰越内訳	郵便振替口座	381,640円
	郵便貯金総合通帳	176円
	定期預金(東京三菱銀行)	400,605円
	普通預金(東京三菱銀行)	146,735円

(平成17年3月31日現在)

計 929,156円

資料2-2

平成16年度収支決算報告明細書

1. 収入の部 明細

項 目	金 額	備 考
1. 会 費	1,166,000	
2. 利 子	72	定期預金 67 普通預金 1 郵便貯金総合通帳 4
3. 雑 収 入	11,497	会誌代
4. 前年度繰越金	1,375,124	
収入合計	2,552,693	

2. 支出の部 明細

項 目	金 額	備 考
1. 報 償 費	0	
2. 賃 金	0	
3. 旅 費	15,000	編集委員会旅費
4. 需 用 費	29,750	封筒作製代・事務用品代
5. 役 務 費	787 91,130 4,870 小計 96,787	振込手数料 切手、葉書代 宅急便送料
6. 使用賃借料	0	
7. 負担金及び補助金	1,176,000 300,000 小計 1,476,000	会誌発行費 第33回大会補助金
8. 返 納 金	6,000	小原秀一先生16年度会費重複分
9. 予 備 費	0	
10. 次年度繰越金	929,156	
支出合計	2,552,693	

資料3-1

平成17年度上半期収支中間報告書
(平成17年4月1日～平成17年9月30日)

(△減)

1. 収入の部				2. 支出の部			
項 目	予 算 額	決 算 額	増 減	項 目	予 算 額	決 算 額	増 減
会 費	1,600,000	1,041,000	559,000	報 償 費	250,000	0	250,000
利 子	100	33	67	賃 金	0	0	0
雑 収 入	0	8,030	△8,030	旅 費	40,000	0	40,000
前年度繰越	800,000	929,156	△129,156	需 用 費	70,000	0	70,000
				役 務 費	120,000	61,250	58,750
				使用賃借料	10,000	0	10,000
				負担金及び 補 助 金	1,500,000	1,035,000	465,000
				予 備 費	50,000	0	50,000
				次年度繰越	360,100	0	360,100
合 計	2,400,100	1,978,219	421,881	合 計	2,400,100	1,096,250	1,303,850

次年度繰越内訳	郵便振替口座	300,640円
	郵便貯金総合通帳	176円
	定期預金(東京三菱銀行)	400,638円
	普通預金(東京三菱銀行)	180,515円

(平成17年9月30日現在)

計 881,969円

資料3-2

平成17年度上半期収支中間報告明細書

1. 収入の部 明細

項 目	金 額	備 考
1. 会 費	1,041,000	
2. 利 子	33	定期預金 33 普通預金 0 郵便貯金総合通帳 0
3. 雑 収 入	8,030	
4. 前年度繰越金	929,156	
収入合計	1,978,219	

2. 支出の部 明細

項 目	金 額	備 考
1. 報 償 費	0	
2. 賃 金	0	
3. 旅 費	0	編集委員会旅費
4. 需用 費	0	
5. 役 務 費	210 59,550 1,490 小計 61,250	振込手数料 切手、葉書代 宅急便送料
6. 使用賃借料	0	
7. 負担金及び補助金	0 735,000 300,000 小計 1,035,000	編集委員会補助金 会誌発行費 第34回大会補助金
8. 予 備 費	0	
9. 次年度繰越金	0	
支出合計	1,096,250	

資料4

平成18年度 予算書(案)
(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

収入の部

項 目	18年度予算額	17年度予算額	増 減
会費収入	1,600,000	1,600,000	0
利子	100	100	0
雑収入	6,000	0	6,000
前年度繰越金	500,000	800,000	△ 300,000
収入合計	2,106,100	2,400,100	△ 294,000

支出の部

項 目	18年度予算額	17年度予算額	増 減
報償費	200,000	250,000	△ 50,000
賃金	0	0	0
旅費及び会合費	30,000	40,000	△ 10,000
需用費	40,000	70,000	△ 30,000
役務費	100,000	120,000	△ 20,000
使用賃借料	10,000	10,000	0
負担金及び補助金	1,500,000	1,500,000	0
予備費	50,000	50,000	0
次年度繰越金	176,100	360,100	△ 184,000
支出合計	2,106,100	2,400,100	△ 294,000